

平成28年度 見附市保健部 活動報告

部長 櫻井 邦子

1 研修のねらい

児童生徒の「生きる力」を育む学校保健活動を目指して
～小中9年間を見通した取組～

2 研修の概要

(1) 講義と実習

テーマ 「養護教諭が行う児童生徒のケア」

講師 新潟大学医学部保健学科 准教授 渡邊 岸子 様

内容 心と体の調和を生むケアとして、「意図的タッチ」「呼吸法」「筋弛緩法」「同作法」などをお互いに実践しながら学ぶことで、心と体が繋がっていることを体感した。

保健室に来室する児童生徒へ、どのような場面や方法で活用することができるか意見交換した。

(2) 部 会

内容 ①小中学校合同の学校保健委員会を開催するために、健康課題を共有し、課題解決のための方策を検討した。

中学校区単位で研修の時間を設け、学校保健委員会の運営や実施後の各学校での取組、評価方法などについて協議した。

②健康診断の検査項目改訂に伴い、各学校での健康診断実施状況について情報交換し、保健調査票や結果通知などの見直しを行った。

(3) 授業公開

日時 10月17日(月) 午後2時～2時45分

会場 見附市立上北谷小学校

内容 2年生学級活動 学級担任と養護教諭のTT授業

「いきいき！目によい生活」～視力低下を予防しよう～

視力低下の原因を紙芝居から見つけ、自分の生活を振り返り、目の健康のために自分でできることを考え、実践してみようとする気持ちを持つことができた。



3 成果と課題

(1) 保健室で行う児童生徒へのケアについては、お互いに実践してみることで、体と心の繋がりがよさを感じることができた。講師の渡邊先生の不登校児への実践から学ぶことも多く、保健室を来室する子どもたちが、少しでもリラックスできるような対応を心がけていきたい。

(2) 養護教諭の年齢構成が二極化していることから、学校保健委員会を合同で実施したり、授業を公開し合ったりすることで、一緒に学ぶ機会を増やし、養護教諭としての力を高めていきたい。